



地理空間情報活用推進基本計画に基づき、準天頂衛星システムの7機体制の構築に向けた開発・整備、関係府省庁連携による防災体制の拡充・強化など、補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、G空間プロジェクトの効果的推進を図る。令和5年度予算案の総額は74,157百万円(前年予算比1.05倍)、令和4年度補正予算の総額は44,188百万円となっており、概要は以下の通り。

自然災害・環境問題への対応

○統合型G空間防災・減災システムの構築の推進

- ・総合防災情報システムの整備と運用
【内閣府:270百万円の内数、(令和4年度補正)1,949百万円の内数】
- ・実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進
【内閣府:16,747百万円、(令和4年度補正)8,048百万円】
- ・小型衛星コンステレーションの構築加速のための基盤技術の開発やアンカーテナンシーを通じた利用拡大
【内閣府:2,300百万円の内数、(令和4年度補正)10,750百万円の内数】等



総合防災情報システム

○地球観測衛星による気候変動等の地球規模課題解決への貢献

- ・地球観測衛星の開発や運用に関する経費
【文部科学省:10,671百万円、(令和4年度補正)3,610百万円】
- ・温室効果ガス観測技術衛星の開発や運用に関する経費
【環境省:4,593百万円、(令和4年度補正)2,017百万円】



温室効果ガス・水循環観測技術衛星(GOSAT-GW)

産業・経済の活性化

○スマート農業の加速化などデジタル技術の利活用の推進

- ・スマート農業社会実装加速化
【農林水産省:600百万円、(令和4年度補正)4,400百万円】
- ・農林水産省地理情報共通管理システム(eMAFF地図)の開発
【農林水産省:432百万円、(令和4年度補正)2,414百万円】



ドローン等を用いたトウモロコシ収量予測システム

○i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進

- ・i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進
【国土交通省:1,668百万円、(令和4年度補正)10,729百万円】

○衛星データ利活用促進事業

- ・衛星データ利用環境整備・ソリューション開発支援
【経済産業省:390百万円】



ICT土工

豊かな暮らしの実現

○「空間ID」を含む3次元空間情報基盤の整備

- ・産業DXのためのデジタルインフラ整備事業
【経済産業省:2,400百万円の内数】

○3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化

- ・プロジェクト「PLATEAU」
デジタルインフラとしての3D都市モデルの構築・利活用促進
【国土交通省:2,100百万円、(令和4年度補正)1,500百万円】



地下構造物等を活用した3D都市モデルのデータ作成実証、ユースケース開発等



空間ID
プロトタイプ(※)

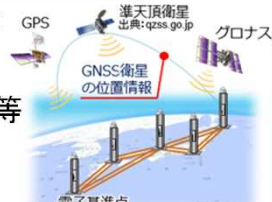
※この他、関係する次期SIP課題「スマートモビリティプラットフォームの構築」において、地理空間情報の活用等を検討中。【内閣府:55,500百万円の内数】

(※)Maxar|Source: Airbus, USGS, NGA, NASA, CGIAR, NLS, OS, NMA, Geodatastyrselen, GSA, GSI and the GIS User Community|国土交通省都市局都市政策課

地理空間情報基盤の継続的な整備・充実等

○高精度測位時代に不可欠な位置情報の共通基盤「国家座標」の推進

- ・電子国土基本図、基盤地図情報、3次元点群データの整備等
【国土交通省:1,217百万円、(令和4年度補正)2,974百万円】
- ・電子基準点の運用による位置情報サービスの発展への貢献等
【国土交通省:858百万円、(令和4年度補正)1,263百万円】



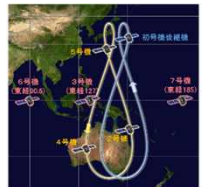
GNSS衛星の位置情報の安定的な推定・提供

○準天頂衛星システムの開発・整備及び測位能力向上の推進

- ・実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進
【内閣府:16,747百万円、(令和4年度補正)8,048百万円】(再掲)

○地理空間情報活用人材の育成・交流支援

- ・地理空間情報等を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード」の開催
【内閣官房:21百万円の内数】



準天頂衛星システム7機体制